

## 成蹊大学、2026年度志願者数が過去最多の3万688人

—3年連続増加の前年度比137.7%—

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長 森 雄一）は、2026年度一般選抜の志願者数が **3年連続増加**し、**30,688人（前年度比137.7%、8,409人増）**と、1949年の成蹊大学開学以来最多となりました。2026年度開設の国際共創学部には**3,192人**が志願。既存学部においても、経済学部が19.5%増、経営学部が24.4%増、法学部が47.6%増、文学部が23.9%増、理工学部が4%増と、それぞれ前年度より増加しています。

受験生の進路観・学びの価値観が多様化する中、成蹊大学では、学部改組や新学部設置、国際教育・実践教育の強化、また選抜方式の拡充など、時代の変化に対応した教育環境の整備を進めてきました。こうした改革を継続的に行ってきたことから、志願者数の増加につながったとみられます。

### ■志願者数増加の背景

#### ・2026年度開設の国際共創学部

持続可能な地球・社会の実現に向け、日本と世界の「文化」「地域」「地理」「環境」などについて理論と実践の両面から学ぶ学部。初年度から一般選抜募集人員の37.1倍の志願者が集まりました。

#### ・E方式へ英語外部検定試験スコア利用を導入

大学入学後の学びにつながる英語力を重視し、受験生が自身の強みを生かして挑戦できる選抜方式へと刷新。前年度比219.9%を記録しました。

#### ・教育改革

2026年度から、成蹊教養カリキュラムの改編、Global Study Program (GSP) と成蹊アントレプレナーシッププログラム (SEP) の導入など、時代の変化に対応した成蹊大学ならではのプログラムを順次導入。このような教育改革も志願者数増加の一因であると考えています。

#### ・新11号館の供用開始

最先端の研究環境を備えた理工学部研究室と、文系・理系の学生が交流し、自発的な学びを促進するラーニングコモンズなど備えた新しい学び舎の供用を2024年9月から開始しました。

### ■数字で見る2026年度一般選抜

- ・総志願者数：30,688人（過去最多）  
※実志願者数は17,201人（前年度比127.1%）
- ・国際共創学部：3,192人（初年度）
- ・E方式（英語外部検定試験スコア利用を導入）：7,819人（前年度比219.9%）

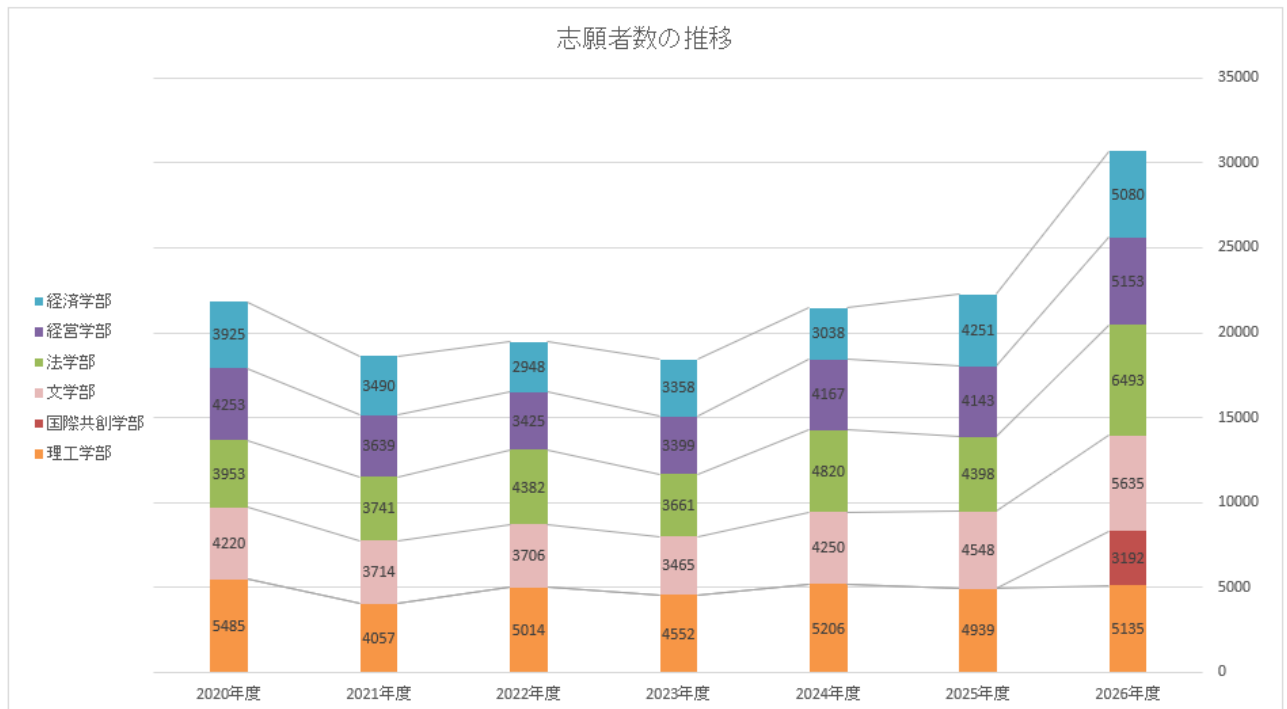
### ■展望

今後も新しい時代に対応した教育活動と活力のある研究活動を推進するとともに、2027年度入試においては、総合型選抜を再編するなど、受験生一人ひとりが自らの特性に合った形で挑戦でき、進路選択の幅をさらに広げることができる選抜方式の拡充を目指します。

<報道機関からの本件に関するお問い合わせ先>  
成蹊学園 企画室 広報グループ  
TEL: 0422-37-3517 E-mail: koho@jim.seikei.ac.jp

【補足資料】

■2020年度以降の志願者数推移



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
経済学部	3,925	3,490	2,948	3,358	3,038	4,251	5,080
経営学部	4,253	3,639	3,425	3,399	4,167	4,143	5,153
法学部	3,953	3,741	4,382	3,661	4,820	4,398	6,493
文学部	4,220	3,714	3,706	3,465	4,250	4,548	5,635
国際共創学部	-	-	-	-	-	-	3,192
理工学部	5,485	4,057	5,014	4,552	5,206	4,939	5,135
合計	<b>21,836</b>	<b>18,641</b>	<b>19,475</b>	<b>18,435</b>	<b>21,481</b>	<b>22,279</b>	<b>30,688</b>

新設の国際共創学部以外の学部で、前年度比100%超えを達成。